

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA

証券コード：6916

株 主 通 信

第39期 中間報告書

平成 25 年 7 月 1 日 ▶ 平成 25 年 12 月 31 日

I-O DATA DEVICE, INC.



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第39期上半期（平成25年7月1日から平成25年12月31日まで）の営業の概況等についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年3月

代表取締役社長 相野 昭雄

営業の概況

■ 当上半期の営業の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の政策効果により円安・株高基調は定着し、企業収益の改善と消費に持ち直しの動きが見られました。

当社グループに関係するデジタル家電市場では、スマートフォンやタブレット端末関連が好調に推移しているほか、パソコン市場では平成26年4月のWindowsXPのサポート終了を控えた更新需要に盛り上がりが見られました。

このような状況のもと、当社グループは、設立以来38年に亘り使用してきたコーポレートロゴをリニューアルし、新生アイ・オー・データ機器として経営体質の変革を始動しました。パソコン環境の更新需要が追い風となるなか、新たなデジタルライフやビジネスシーンを支える魅力的な商品・サービスの提案を加速し、取扱商品の拡充と販路拡大に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。

利益面につきましては、増収による影響に加え、取引条件の改善等の採算性を重視した事業展開が実を結び堅調に推移しました。前年同期との比較においては、前年同期では販売価格の下落と在庫調整に伴う採算悪化が重なり損失を計上していたことから、営業利益以下の各利益項目は大幅な増益となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は217億43百万円（前年同期比24.0%増）、営業利益は8

億84百万円（前年同期は1億11百万円の営業損失）、経常利益は8億56百万円（前年同期は1億28百万円の経常損失）となりました。また、当期の業績進捗を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討いたしました結果、当第2四半期連結累計期間において繰延税金資産を計上し、法人税等調整額の戻入2億27百万円を計上したことにより、四半期純利益は9億24百万円（前年同期は9億42百万円の四半期純損失）となりました。

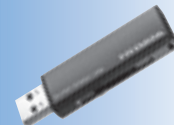
■ 部門別 営業の概況

■ メモリー部門

メモリー部門の売上高は15億44百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

メモリーモジュールは、前年同期との対比において販売台数は横ばいながら、DRAM価格の上昇に伴う販売価格の上昇により、売上高は前年同期を上回りました。メモリーカードやUSBメモリー等のフラッシュメモリーは、低価格帯商品の販売が好調に推移し、売上高は前年同期を上回りました。

USB 3.0/2.0対応フラッシュメモリー



U3-ALシリーズ

■ストレージ部門

主力のハードディスクの販売は、TVの販売不振による影響に加え、競争と距離を置く採算重視の事業展開を徹底したことにより前半伸び悩みましたが、年末商戦期に入り需要は急伸し、売上高は68億53百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

■液晶部門

法人市場を中心にしたパソコン環境の更新需要の盛り上がり際に際し、供給体制を整え積極的に案件獲得に取り組みました結果、液晶部門の売上高は前年同期を大幅に上回る48億34百万円（前年同期比97.5%増）となりました。

設置環境や利用シーンに最適な商品の提案を目指し、サイズや拡張性、特徴ある映像技術等からラインナップの充実を進めるなかで、法人モデル全般に目の疲れの原因とされる「ブルーライト」を低減する新機能の搭載を開始しました。

■周辺機器部門

主に無線LANやNASを中心にしたネットワーク分野の伸長により、周辺機器部門の売上高は39億74百万円（前年同期比11.4%増）となりました。

無線LAN関連では最新の超高速規格「11ac」の商品ラインナップを拡充するとともに、新規ユーザー層の獲得を狙い、環境移行や初期設定時の煩わしさを解消するツールを整備しました。NASでは法人向けに、常時稼働の運用面の課題とされる熱や振動への対策と電力の消費効率に優れた新モデルの展開を開始したほか、



各社クラウドストレージサービスとの連携強化を図りました。また、スマートフォンで手軽に遠隔地をモニターできるネットワークカメラのシリーズ化を積極的に進めました。

マルチメディア及びデジタル家電関連分野については、各種デバイスに対応した地デジチューナーのほか、思い出の映像を記録したVHSや8mmビデオテープを手軽にデジタル化できるビデオキャプチャーの販売が底堅く推移しました。

■特注製品部門

デジタル家電関連や通信事業者向け等へのOEM、特注品の販売を主とする当部門では、一部の大口案件が前連結会計年度末に一巡した影響から、売上高は12億10百万円（前年同期比39.9%減）となりました。

■その他の部門

自社のラインナップを補完する他社ブランド商品の販売が好調に推移し、売上高は33億27百万円（前年同期比99.4%増）となりました。サムスン電子製SSD（フラッシュメモリを使用した記憶装置）の販売が伸長したほか、平成25年4月より販売を開始したVerbatim®（バーバイタム）ブランドの光ディスクの販売が堅調に推移しました。また当第2四半期連結累計期間より、サムスン電子のスマートフォン「GALAXYシリーズ」のモバイルバッテリーやウェアラブル端末「GALAXY Gear」等の関連商品の取扱いを開始しました。

■通期の見通し

今後当社グループの第3四半期連結会計期間においては、WindowsXPの移行需要や消費増税前の駆け込み需要の拡大が見込まれますが、第4四半期連結会計期間にはその反動も懸念されており、予断を許さぬ状況にあります。

こうした状況のもと、第2四半期連結累計期間の経営成績を踏まえ、通期計画を精査しました結果、売上高、各利益ともに前回予想を上回る見通しにありますことから、平成26年6月期の通期連結業績は、売上高430億円、営業利益15億円、経常利益15億円、当期純利益14億円を見込んでおります。

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 連結会計期末 (平成24年12月31日)	当第2四半期 連結会計期末 (平成25年12月31日)	前連結 会計年度末 (平成25年6月30日)
資産の部			
流動資産	18,269	26,360	20,851
現金及び預金	5,106	4,493	4,794
受取手形及び売掛金	7,132	10,854	7,890
商品及び製品	3,817	6,662	5,018
原材料及び貯蔵品	1,155	1,917	1,526
その他	1,069	2,447	1,633
貸倒引当金	△ 11	△ 14	△ 13
固定資産	5,713	5,751	5,803
有形固定資産	3,876	3,795	3,823
土地	2,880	2,880	2,880
その他	996	914	942
無形固定資産	153	147	134
投資その他の資産	1,683	1,808	1,846
① 資産合計	23,982	32,112	26,654
負債の部			
流動負債	5,843	12,075	7,801
支払手形及び買掛金	4,714	6,839	5,791
短期借入金	—	3,000	—
未払法人税等	67	140	132
ポイント引当金	17	7	20
賞与引当金	66	50	—
その他	977	2,038	1,857
固定負債	865	588	572
役員退職慰労引当金	110	110	110
リサイクル費用引当金	341	337	324
製品保証引当金	202	101	98
その他	210	38	38
② 負債合計	6,708	12,663	8,373
純資産の部			
株主資本	17,060	18,292	17,587
資本金	3,588	3,588	3,588
資本剰余金	4,228	4,228	4,228
利益剰余金	10,185	11,695	10,771
自己株式	△ 941	△ 1,219	△ 1,000
その他の包括利益累計額	1	870	432
少数株主持分	211	285	261
③ 純資産合計	17,274	19,448	18,280
負債及び純資産合計	23,982	32,112	26,654

※百万円未満切り捨て

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	前連結 会計年度 (自平成24年7月1日 至平成25年6月30日)
売上高	17,529	21,743	36,671
売上原価	14,773	17,897	30,554
売上総利益	2,756	3,845	6,116
販売費及び一般管理費	2,867	2,961	5,491
営業利益(△損失)	△ 111	884	624
営業外収益	134	140	262
営業外費用	152	168	353
経常利益(△損失)	△ 128	856	533
特別損失	15	0	416
税金等調整前四半期 (当期)純利益(△純損失)	△ 143	855	116
法人税、住民税及び事業税	52	136	131
法人税等調整額	725	△ 227	295
少数株主損益調整前 四半期(当期)純利益(△純損失)	△ 921	946	△ 310
少数株主利益	20	21	46
四半期(当期)純利益 (△純損失)	△ 942	924	△ 356

※百万円未満切り捨て

① 資産

総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて54億57百万円増加し、321億12百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が29億63百万円、たな卸資産が20億35百万円増加しております。また、デリバティブ債権が5億36百万円増加したこと等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて42億90百万円増加し、126億63百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が10億47百万円、短期借入金が30億円増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて11億67百万円増加し、194億48百万円となりました。これは、四半期純利益9億24百万円の計上と、繰延ヘッジ損益が2億57百万円増加したこと等によるものであります。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間 (自平成24年7月1日 至平成24年12月31日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	前連結 会計年度 (自平成24年7月1日 至平成25年6月30日)
④ 営業活動による キャッシュ・フロー	1,041	△ 3,125	810
⑤ 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 71	△ 3	△ 239
⑥ 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 1,072	2,767	△ 1,132
現金及び現金同等物に係る 換算差額	89	60	236
現金及び現金同等物の 増減額	△ 13	△ 301	△ 325
現金及び現金同等物の 期首残高	5,119	4,794	5,119
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	5,106	4,493	4,794

※百万円未満切り捨て

④ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果使用した資金は31億25百万円（前年同四半期は10億41百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益8億55百万円の計上及び仕入債務の増加9億6百万円による資金増加と、売上債権の増加28億32百万円、たな卸資産の増加20億34百万円による資金減少等によるものであります。

⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は3百万円（前年同四半期は71百万円の使用）となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出99百万円、保証金の返還や保険配当金など他の資金増加97百万円等によるものであります。

⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は27億67百万円（前年同四半期は10億72百万円の使用）となりました。これは、短期借入金による収入30億円と、自己株式の取得による支出2億18百万円等によるものであります。

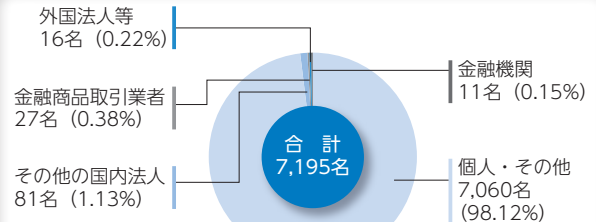
株式の状況

発行可能株式総数	41,000,000株
発行済株式の総数	14,839,349株
1単元の株式の数	100株
株主数	7,195名

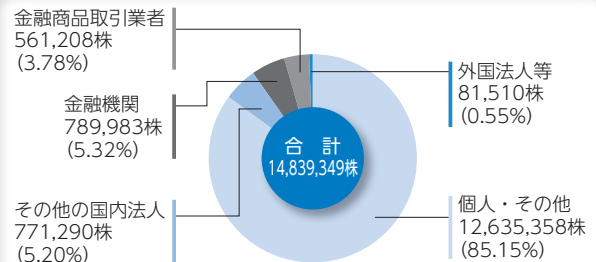
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
細野昭雄	4,514,643	30.42
株式会社アイ・オー・データ機器	2,039,266	13.74
細野幸江	763,780	5.15
株式会社北國銀行	306,662	2.07
有限会社トレント	269,675	1.82
三菱化学メディア株式会社	200,000	1.35
株式会社SBI証券	199,600	1.35

所有者別株主数分布状況



所有者別株式数分布状況

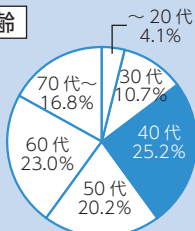


株主様アンケート集計結果

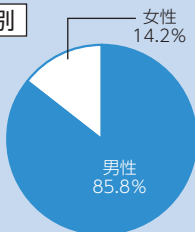
第38期報告書にてお願いいたしました「株主様アンケート」の集計結果について、ご報告申し上げます。
ご協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。

ご回答いただいた株主様のプロフィール

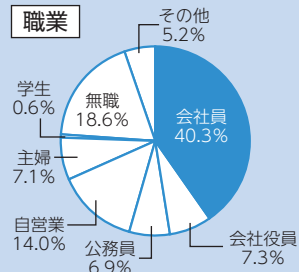
年齢



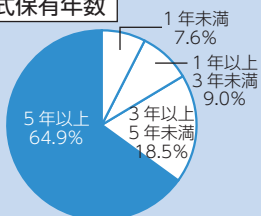
性別



職業

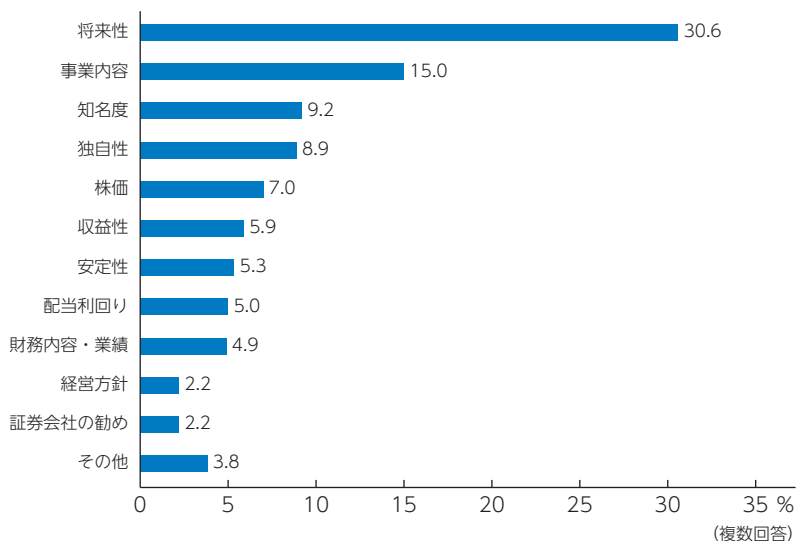


株式保有年数

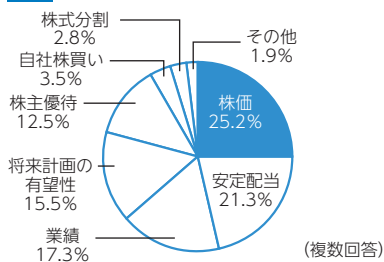


- アンケート実施期間：平成25年9月27日～平成25年10月31日
- 調査対象：平成25年6月30日現在の株主様 7,707名
- 回答者数：542通（回答率7.0%）

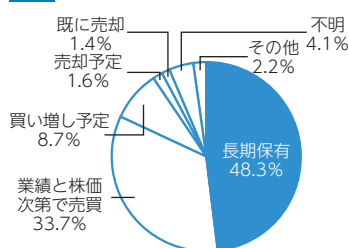
1 当社株式のご購入理由



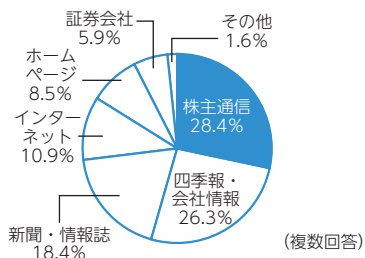
2 保有につながる判断材料



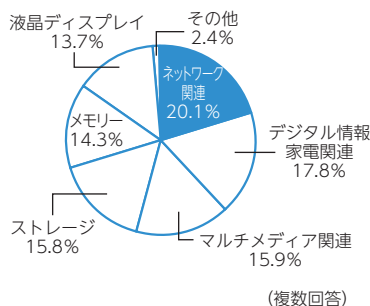
3 当社株式の保有方針



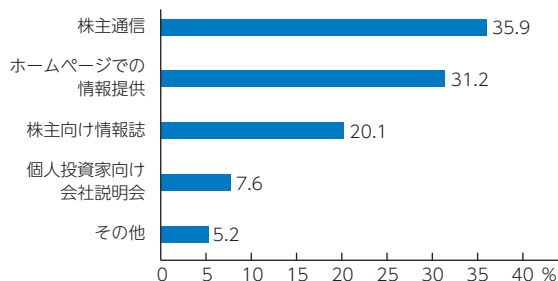
4 当社に関する情報入手手段



5 興味のあるパソコン周辺機器・デジタル家電



6 当社のIR活動について特に充実を希望すること



当社へのご意見・ご要望 (一部抜粋)

製品開発について

- 他の会社にはないような個性的な商品の開発を期待しています。
- スマートデバイス関連分野での今後の新提案に期待しています。
- 周辺機器分野は、アイディア1つで世の中を大きく変える製品開発が出来るのではないかと期待しています。今後どのような新製品がリリースされてくるのか楽しみにしています。
- 市場インパクトのある製品の開発を望みます。

経営・業績について

- 御社の業績が良くなり株価の上昇、望みます。
- ローコストにおさえ、収益をあげるのは大変ですが、益々の発展のため頑張ってください。
- コストダウンと機動的な製販バランスの追求が必要だと思います。

当社へのご要望・ご提案・激励

- 新しいロゴは、未来を感じさせる簡素さで、素晴らしいと思います。新製品に期待しています。
- 地域活動に貢献されている様子。頑張ってください。
- 御社を知って短いが、次期以降、さらに期待します。
- 新人教育や採用に力を入れて欲しい。

株主の皆様からのお声をお聞きして

株主の皆様からお寄せいただきました多くの貴重なご意見・ご要望・激励のお言葉を真摯に受け止め、今後のIR活動をはじめ、様々な活動の充実・改善に取り組み、株主の皆様のご期待に応えられるよう、より一層努力してまいります。

会社の概要 (平成25年12月31日現在)

会社概要

商号	株式会社アイ・オー・データ機器 I-O DATA DEVICE, INC.
設立	昭和51年1月10日
資本金	35億8,807万円
従業員数	407名 (単体) 450名 (連結)

役員

代表取締役社長	細野 昭雄
専務取締役	池田 信夫
取締役	川田 浩則
取締役	濱田 尚樹
取締役	加藤 啓樹
◎取締役	新田 義廣
常勤監査役	池田 谷勝章
※監査役	水松 木浩
※監査役	横本 篤

(注) 社外取締役には◎印を、社外監査役には※印を付けております。

当社グループ



事業所

- 本社 (金沢市)
- 営業所
- 東京オフィス
- 大阪営業所
- 札幌営業所
- 仙台営業所
- 名古屋営業所
- 広島営業所
- 福岡営業所

関係会社

- 子会社
- 国際文歐資訊股份有限公司
- 艾歐資訊橫山 (香港) 有限公司
- I-O DATA America, Inc.
- ITGマーケティング株式会社
- 関連会社
- I-O & YT Pte. Ltd.
- 株式会社デジオン
- クリエイティブ・メディア株式会社

株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基準日	定時株主総会 毎年6月30日 期末配当金 毎年6月30日 中間配当金 毎年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
公告方法	電子公告により当社のホームページに掲載します。(http://www.iodata.jp/)ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関 同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ
証券コード	6916

ご注意

- 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求等の各種手続きについて
原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできません。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きについて
三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問い合わせください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできません。

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

石川県金沢市桜田町三丁目10番地
URL <http://www.iodata.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。